

## クローズアップ!知っておきたいビジネスキーワード：経営に役立つキーワードを解説(1)

監修：大阪経済大学中小企業・経営研究所

解説：田村 俊之（大阪経済大学中小企業・経営研究所企業支援担当特別研究所員/  
中小企業診断士）

### 今月のキーワード 環境経営

#### 環境経営とは？

環境経営とは、企業が環境問題を重視し、環境保全に配慮しながら経済的な成長や利益を追求する経営手法のことです。具体的には、省エネやリサイクルなどの取り組み、環境規制の遵守などが挙げられます。企業の社会的責任として求められることが増えており、企業イメージ やブランド価値にも影響するため、多くの企業が実践し始めています。

#### 「環境経営って儲かるの?」

ある中小企業の社長から「環境経営って儲かるの?」と聞かれました。私は「3～5年で考えれば、利益につながります」と答えました。環境経営に取り組んでいる企業と市場全体の株式投資のパフォーマンス(運用成績)の推移をみると(表参照)、1年程度ではほとんど差はありませんが、3年経つと、環境経営に取り組む企業は明らかに株価が高くなり、5年ではさらに差が拡大しています。環境経営に熱心な企業は、企業価値が高まる、すなわち成長したり利益率が高くなったりすることがわかります。

#### 町工場での継続的な取り組み事例

埼玉県に来<sup>ら</sup>いハトメ工業という従業員約 40 人の町工場があります。かつてはあまり環境を意識していなかったそうですが、2010 年に「エコアクション 21(P.5 参照)」を取得してからは、年間 40 回にも及ぶ社員教育を継続。LED 電球への切り替え、窓用断熱フィルムの施工といった身近なところから取り組んでいきました。また、電気の使用状況を監視できるデマンドコントローラーを導入し、問題点を把握しやすくしました。そして、重油焚きで CO<sup>2</sup> 排出量が多い設備を、電気による省エネ型に更新したことなどが、CO<sup>2</sup> 排出量を 97%も削減という大きな成果を生みました。こうした取り組みは、トップの明確な方針があつてこそ推進でき、昨今のエネルギーコスト上昇の影響も受けにくくなるだけでなく、環境優良企業として認知されることで、大手取引先からの評価が高まることも期待できます。

環境経営は、時間はかかりますが、さまざまな成果につながります。まずは小さな取り組みから進めてみませんか。